

ノニ有之假故工場経営主ニ於テ私共ノ生活安定及向上ニ御
考慮相成度候

現在諸物價高騰ニ私共生活ハ著ク不安定ニ立到リ白々ノ
勞働クニテ圓滑ニナレ得サル状態ト相成毎夜苦悶致シナル
次第ニ候 而此際右理由御洞察被下我等職工ノ立場ニ御
同情、上左記各頃ノ御考慮被下度候

一 職工一同賃金クニ割値上即時実行

二 割給制度年二回確立

三 労働手當ノ確立

四 賞與制度ノ確立

右我々希望条件ノ最低讓步事項ニ付是非共即時断行相成度
此段謹ニテ囑願候也

昭和十二年四月十四日 職工一同

橋本有隣 殿

六経過

ハ事業主側ニアリテハ本問題ガ外部ニ洩ル、ノ慮レ且又勞働
組合ノ介在ノ警戒レツ、極秘裡ニ今系會社ニ付賃銀値上状
況等ノ調査スル等対策協議中ニアリタルガ囑願ニ關シテハ
日給十錢定メ上スルコト、レ

四月十六日從業員側代表坂本幸藏外三名ト會見右決定事項
ヲ發表セリ

又代表ハ事業主側ノ發表ニ對シ到底承認スル能ハストナレ折
衝ニ入りタルカ、代表側ニ於テニ割値上ニ關スル確キル標準
ナク且又代表ノ意見一致ウクニ至レハ為事業主側ヨリ妥
協案トシテ各人ノ情况ヨリ一人勝リ日給十五錢ノ賃上ヲ為
レ第ニ、三、四ノ各項目ハ附隨囑願ナルヲ以テ事業主一任セラ
レタレト提議代表之ノ承認ニ覺書等ノ交換ナク圓滿解決セリ

右及申報候也